



*FSS<sup>®</sup> File Security System*



# FSSバージョンアップ 概要について



□ OS対応状況 .....	P. 2
□ FSS基本パッケージ Ver.7.0 追加機能 .....	P. 4
□ 追加機能以外の変更情報 .....	P. 12
□ 主要機能再掲載 .....	P. 14

株式会社ローレル インテリジェント システムズ

# 1.対応OSについて①

## 基本パッケージ及びオプション製品の対応状況

FSS® File Security System

### Windows 7/8 (64bitOS)対応

インストーラーの改善も実施

【 ○:対応 / ×:対応予定なし】

No.	FSS製品のOS対応表	XP (32bit)	XP (64bit)	Vista (32/64)	7 (32/64)	8 (32/64)	備 考
1	FSS 基本パッケージ Ver.7.0 (Standard/Plus)	○	×	○	○	○	Windows 7 (64bit)対応版(FSS基本6.0)先行リリース済み 64bitOS正式対応版 / インストーラ及び一部機能改修
2	FSS発行管理パッケージ (Director)	○	×	○	○	○	ICカード発行管理ソフト 64bitOS正式対応版

- ※ マイクロソフト製品のサポートライフサイクルに合わせて下記の通り、FSSのサポートも終了させていただきます。  
Windows 2000 サポート終了 (2010/07/13)  
Windows XP SP2 以前 サポート終了 (2010/07/13)  
Windows Vista SP1 以前 サポート終了 (2011/07/12)
- ※ 64bit版OSの対応につきましては、Windows Vista以降のOSが対象となります。
- ※ FSS基本パッケージ/Plusのサポート対応は、原則 Ver.5.0以降(2世代前まで)とさせていただきます。
- ※ オプション製品につきましては、販売終了から3年間サポート対象となります。

# 1.対応OSについて②

## 基本パッケージ及びオプション製品の対応状況

FSS® File Security System

### オプション製品対応状況について

FSS基本パッケージ以外のオプション製品のOS対応状況について

【○：動作対応 / ×：対応予定なし】

No.	製品名	XP	Windows Vista		Windows 7		Windows 8		備考
		32bit	32bit	64bit	32bit	64bit	32bit	64bit	
1	RD-Filter	○	○	○	○	○	開発中	開発中	
2	LogonAnalyzer	○	○	○	○	○	○	○	
3	LogonPermit	○	○	○	○	○	○	○	
4	SmartLogon RD	○	○	○	○	○	○	○	
5	SmartCipher for FileServer	—	—	—	—	—	—	—	Windows Server 2008 R2(32/64bit)まで対応
6	SmartLogon AP	○	○	○	○	○	○	○	
7	DesktopShield	○	○	×	○	×	○	×	
8	SmartEFD	○	○	○	○	○	○	○	
9	FSS VPNConnect	○	○	○	○	○	○	○	
10	SmartProxy Client	○	○	○	○	○	○	○	Windows 8 より後のOSは、「FSS VPNConnect」をご検討ください。
11	SmartProxy Server	—	—	—	—	—	—	—	Windows Server 2008 R2(32/64bit)まで対応
12	P-Lock	○	○	×	○	×	×	×	
13	SmartWTS	—	—	—	—	—	—	—	Windows Server 2003 (32/64bit)まで対応
14	FSS RemovableDisk Cipher	○	×	×	×	×	×	×	<販売終了予定>
15	FSS基本パッケージ for Macintosh	—	—	—	—	—	—	—	<販売終了・サポート終了製品>
16	FSS基本パッケージ (指紋対応版)	○	×	×	×	×	×	×	<販売終了・サポート終了製品>

(2013/04/01 現在)



# 基本パッケージ関連の主なVer. up機能

(Ver.7.0から追加になった機能)

# 2.追加機能紹介① (Ver.7.0から)

## ICカード内のWindowsパスワードを変更する機能

## ICカード内のWindowsパスワード変更機能

ICカード内のWindows用PWを ActiveDirectory等で管理中のPWに合わせる機能

- ① ICカード内の「Windowsログオン用PW」の更新機能 <初回及び任意に実行>
- ② 「Windows用ログオンPW」の有効期限切れ時などのFSS連動機能
- ③ 万一、AD側等とICカード内のWindowsログオン用PWが不一致になった場合も、①の機能でOK

### 【手動で更新するケース】

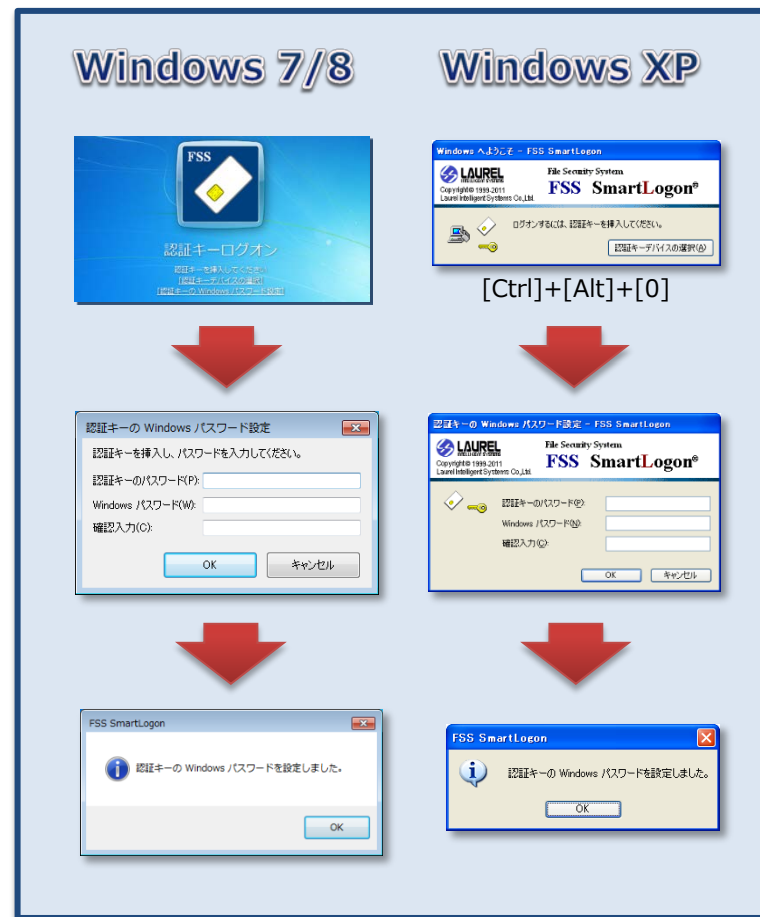
ICカード内のWindowsパスワードを手動で変更する場合は、以下の手順で出来ます。

- ① ログオン画面で、ICカードを挿入せずに「認証キーのWindowsパスワード設定」をクリック  
(Windows XPでは、[Ctrl]+[Alt]+[0]を押下してください。)
- ② ICカードR/WにICカードを挿入
- ③ 所有者PW(ICカードにアクセスする為のパスワード)1回と、Windowsログオン用PW(ローカルやActiveDirectoryで管理している、Windowsへログオンする為のパスワード)を2回入力して[OK]ボタンをクリック  
このPWを、ICカード内のWindowsログオン用PWとして更新します。

### 【自動的に更新されるケース】

下記の場合、Windowsのパスワード変更と連動してICカード内のパスワードも変更されます。

- ICカードを挿入し、ICカードアクセス用PWを入力した後、AD側のポリシー等にて、Windowsログオン用のPW強制変更メッセージが出力された場合
- ログオン後に「Ctrl+Alt+Del」でパスワード変更した場合

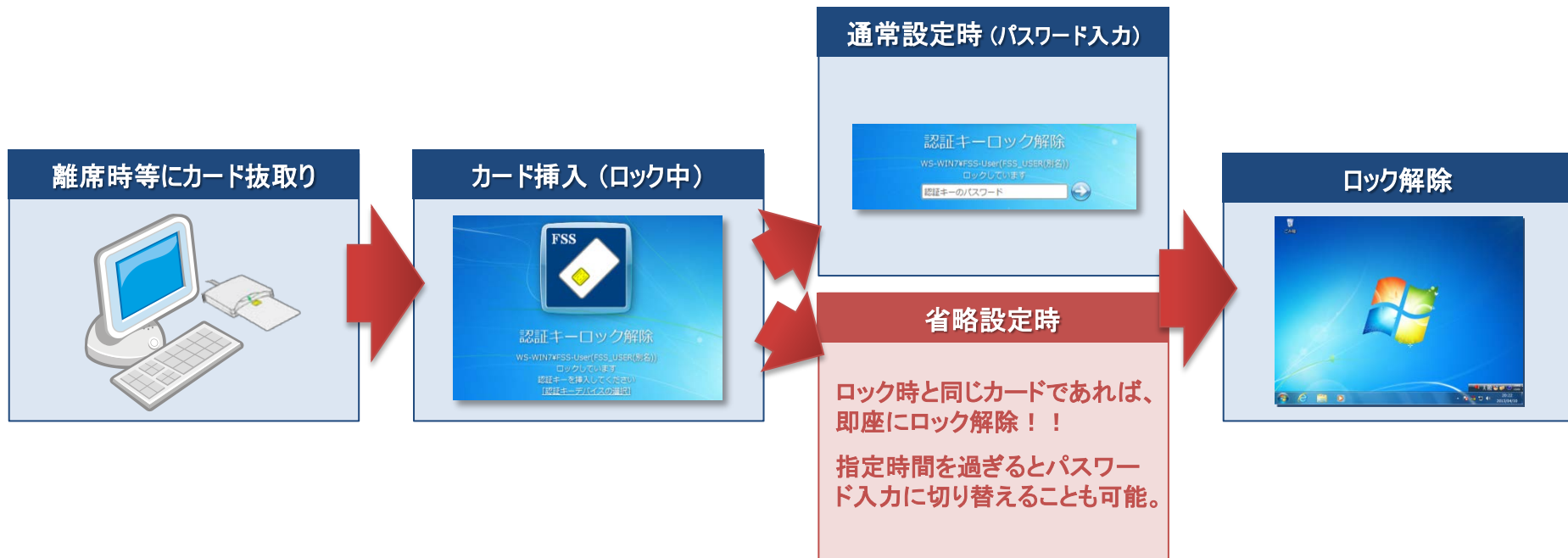


※注意 緊急ログオン/ロック解除は、該当日&該当PC向け「緊急コード」のみの対応になります。

## ロック解除時のパスワード入力省略機能

ロック解除時(時間指定も可能)に同一カードなら所有者パスワード認証を省略する機能

- ロック時のカードを挿入するだけで、自動的にロック解除させる機能。  
(ロック解除時のパスワード入力を省略する機能)  
(ロック時のカードと異なる場合は、PW入力画面が表示されます。)
- 本機能は**選択方式**で、**端末単位**に設定が可能です。
- 指定時間を超過すると、同一カードであってもパスワード入力画面を表示させる事も出来ます。
- ログオン時は入力必須ですが、その後はカードの挿抜だけで利用できます。
- お手洗いや、宅配の受取り等短い時間離席する際の、ちょっとした手間を解消！



## 2.追加機能紹介③ (Ver.7.0から) 自己展開型暗号ファイルパスワード強度指定機能

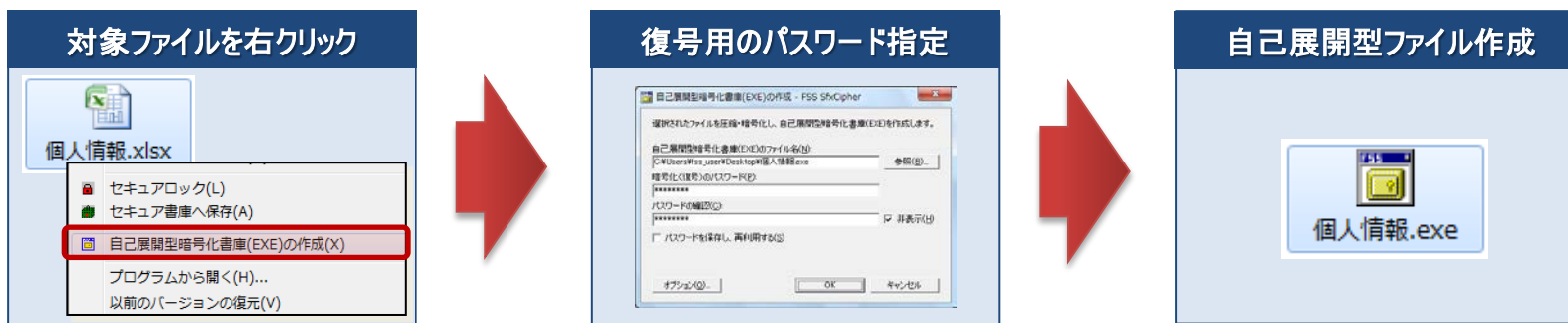
SfxCipher

FSS® File Security System

### 自己展開型暗号ファイルパスワード強度指定機能

自己展開型暗号作成時に、パスワード強度をログオンパスワードの強度に合わせる機能

- 自己展開型暗号ファイル作成時のパスワードを、所有者パスワードのポリシーに合わせる機能。(パスワードポリシーの設定については、次ページをご確認ください。)
- 本機能は**選択方式**で、**端末単位**に設定が可能です。
- 自己展開型暗号ファイルとは、FSSを使用していない人に対して、メール等でファイルを暗号化した状態で送付する為に、自己展開(復号)機能を持った暗号ファイルを作成する機能です。



- **注意!**
  - カスタム設定を行わずにインストールした場合、パスワードは8桁以上のみの設定がデフォルトとなります。
  - パスワードのポリシー設定は、KeyServiceの設定に依存するため、sfxCipherのみを個別に設定することはできません。
  - メーカーによって、自己展開型のファイル(exe形式)を、受信・送信することができない場合があります。その場合は、拡張子を変更(.ex1等)頂く事で送付できます。  
また、作成するファイル名の欄で「〜〜.exe」を「〜〜.ex1」等に変更頂くと、次回から自動的に「〜〜.ex1」がデフォルトになります。

## 2.追加機能紹介③ (Ver.7.0から)

### 自己展開型暗号ファイルパスワード強度指定機能 (補足資料)

FSS® File Security System

No.	機能内容	説明	旧バージョン	低	中	高	禁止Keyword
1	パスワード長のチェック機能	8文字～16文字の文字数	○	○	○	○	○
2	使用可能文字のチェック機能	半角英数字／半角記号のみ使用可能	○	○	○	○	○
3	文字の組み合わせチェック機能	下記から2種類使用する事 「半角英小字」「半角英大文字」「半角数字」「半角記号」 [OK] abcd5678, #2345678 [NG] ABCDEFGH, 12345678	×	○	—	—	×
		下記から3種類使用する事 「半角英小字」「半角英大文字」「半角数字」「半角記号」 [OK] #\$\$DEF78, A23xy6789 [NG] abc45678, (!#4567)		—	○	○	
4	文字の連続度チェック機能	4連続まで許可(英大文字・小字を同一視) 「同一文字」「繰り上がり文字」「繰り下がり文字」 [OK] ABC13572, aaaa1111 [NG] 12345aaa, eDcBa678	×	○	—	—	×
		3連続まで許可(英大文字・小字を同一視) 「同一文字」「繰り上がり文字」「繰り下がり文字」 [OK] abc456XY, A#\$89012 [NG] Abcd8765, #\$\$&567H		—	○	○	
5	パスワードとユーザーIDの 同一度チェック機能	「ズラシ」は不可 例) ユーザーID : U123XX [OK] U123aabb, %XX321U% [NG] PwU123XX, U123XX7h	×	×	○	○	×
		「ズラシ」「反転」は不可(英大文字・小字を同一視) 例) ユーザーID : U123XX [OK] U123aabb, V234bbcc [NG] Pwu123xx, %XX321U%		×	×	○	
6	新/現パスワードの 同一度チェック機能	「完全一致」は不可 例) 変更前のパスワード : 11111111 [OK] Abc111' ( [NG] 11111111	○※	○	○	○	○
		「ズラシ」は不可 例) 変更前のパスワード : ABC456hi [OK] abc654HI, hiABC456 [NG] !~ABC456hi		×	×	○	×
		「ズラシ」「反転」は不可(英大文字・小字を同一視) 例) 変更前のパスワード : ABC456hi [OK] abc456IH, hiABC456 [NG] ih654CBA, !abc456HI		×	×	×	○
7	使用文字数チェック機能	5文字以上使用する事 同一文字は1つとしてカウント(英大文字・小字を同一視) [OK] 1A1b1c1d, 123567Ab [NG] 111aaa\$\$, AaA11233	×	×	×	○	×
8	禁止キーワード(任意指定)の チェック機能	任意登録した文字の使用を禁止する 「ズラシ」(英大文字・小字を同一視) 例) 禁止キーワード : 111, abc, 234, !!! [OK] cba432XY, !11A890!! [NG] Abc326XY, !234aa!H	×	○	○	○	○

※ パスワード強制変更時は、「完全一致」不可



# 2.追加機能紹介④ (Ver.7.0から)

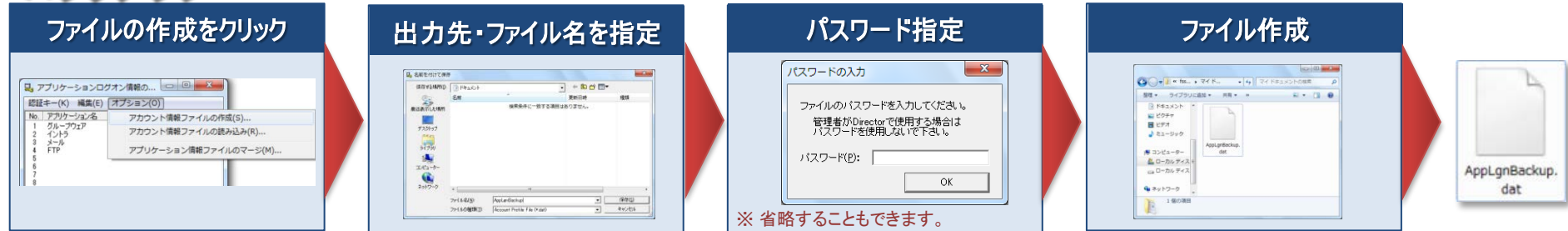
## SSO用のアカウント情報をバックアップ/リロード～格納する機能

### ICカード内のSSOアカウント情報バックアップ機能

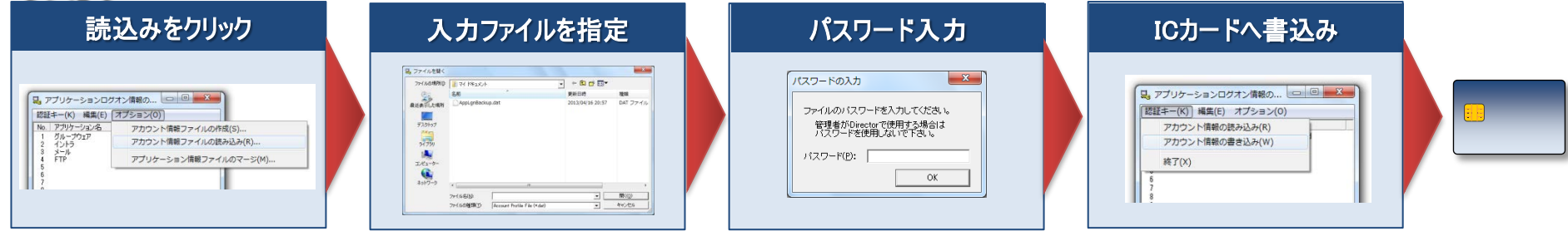
#### ICカード内のアプリケーションログオン認証情報をバックアップする機能

- アプリケーションログオンの認証情報をバックアップする機能です。アカウント情報の安全なバックアップおよび新カードや予備カードへの発行に。
- 本機能は**選択不可**で、**全端末**に設定が可能です。

### バックアップ



### リストア



- **注意!**
  - パスワードは8文字以内の半角英数記号を指定可能です。
  - ファイル読み込み後は、ICカードへ書込みを必ず行ってください。
  - ユーザーエリア発行に使用する場合は、バックアップファイル作成時にパスワードを指定しないでください。

# 2.追加機能紹介⑤ (Ver.7.0から)

## ログオン画面やロック解除画面からICカードR/W選択機能

### ログオン・ロック解除画面R/W選択機能

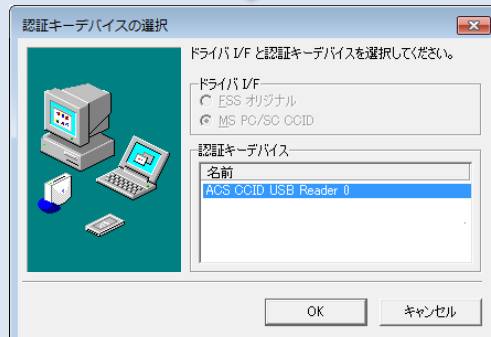
ログオンしなくても、FSSで使用するICカードR/Wを選択できる機能

- R/Wの指定が、ログオン画面や、ロック画面から行える機能。  
強制終了や、設定ファイルの破損でR/Wが使えなくなっても、Windowsにログオンすることなくログオン画面ですぐに再指定が可能です。  
(選択できるのは、Windowsがデバイスとして認識しているICカードR/Wのみとなります。)
- 本機能は**選択不可**で、**全端末**に適用されます。

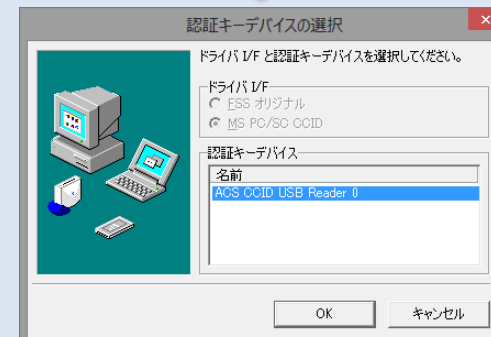
#### Windows XP



#### Windows Vista / 7



#### Windows 8



## 2.追加機能紹介⑥ (Ver.7.0から)

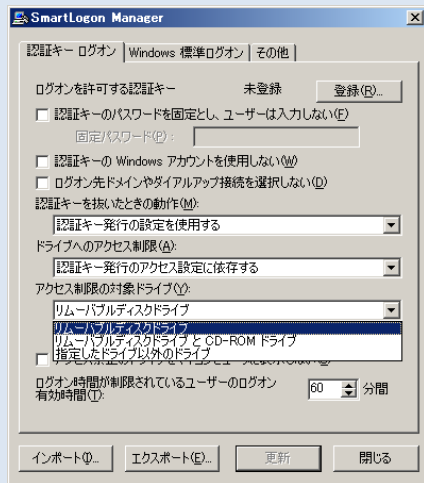
### SmartLogon制限カテゴリの追加

## SmartLogon制限カテゴリの追加 (Windows Vista以降)

### 制限対象に「ポータブルデバイス」を追加

- Windowsがポータブルデバイスとして認識するハードウェアを制限する機能。  
ポータブルデバイスとは、携帯電話 / デジタルカメラ / ポータブルメディアプレーヤーなどのさまざまなポータブルデバイスを指します。
- 本機能は**選択不可**で、**全端末**に適用されます。

### Windows XP



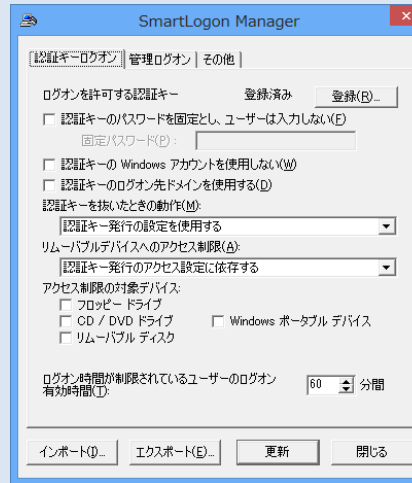
#### 《 制限対象 》

- リムーバブルディスクドライブ
- リムーバブルディスクドライブとCD-ROMドライブ
- 指定したドライブ以外のドライブ

#### アクセス制限の対象ドライブ(Y):

リムーバブルディスクドライブ  
リムーバブルディスクドライブ  
リムーバブルディスクドライブとCD-ROMドライブ  
指定したドライブ以外のドライブ

### Windows Vista / 7 / 8



#### 《 制限対象 》

- フロッピードライブ
- CD / DVDドライブ
- リムーバブルディスク
- Windowsポータブルデバイス

#### アクセス制限の対象デバイス:

フロッピードライブ  
 CD / DVDドライブ  
 Windowsポータブルデバイス  
 リムーバブルディスク

- 注意!**
  - Windowsポータブルデバイス(WPD)を使用するデバイスが対象となるため、サードパーティ製ドライバを使用するデバイス等は制限の対象になりません。
  - 画像転送プロトコル(Picture Transfer Protocol:PTP)やメディア転送プロトコル(Media Transfer Protocol:MTP)を用いたファイル転送は、制限の対象になりません。
  - デバイスの制限を拡張したい場合は、オプションソフト「RD-Filter」をご検討ください。

# 3.機能以外の説明①

## 統合インストーラー

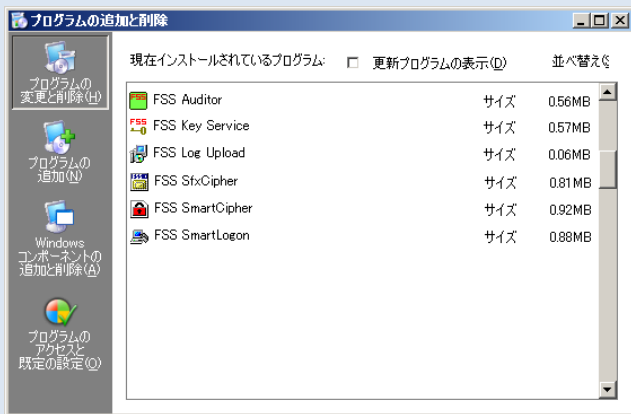
FSS® File Security System

### 統合インストーラー

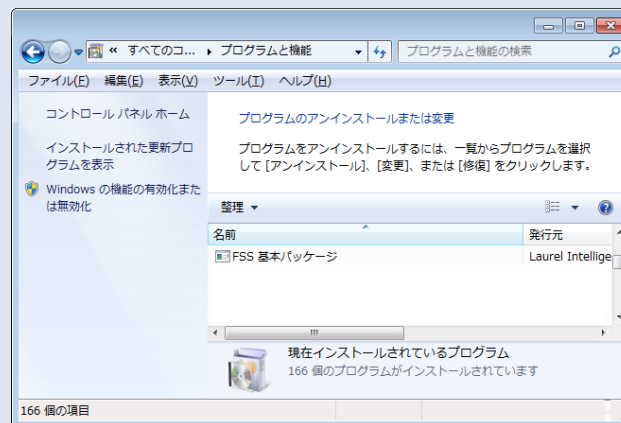
FSSのアンインストールが簡単になりました。

- ソフトウェア毎にバラバラだったインストーラーを統合しました。これにより、インストール作業以外に、アンインストール作業も簡単になりました。(アンインストール時に、KeyServiceを個別に終了する必要がなくなりました。)
- FSS基本パッケージVer.3.2以降であれば、上書きインストールが可能です。

#### いままで...



#### 統合後...



- **注意!**
  - 上書きインストールを行った場合、上記図のように各ソフトウェアが統合されます。ただし、基本パッケージに含まれないオプション製品は、そのまま個別に表示されます。
  - 古いFSSに対して上書きインストールを行った場合、古いオプションソフトウェアをアンインストール時に、基本パッケージ関連ファイルを合わせて削除される場合、逆にアンインストール時にファイルが削除されずに残る場合がございます。その為、基本的に入れ直し(旧FSSアンインストール → 新FSSインストール)をお薦めいたします。

# 3.機能以外の説明②

## 後継ICカードリーダー・ライター

FSS® File Security System

### 新しいICカードリーダー・ライター

SCR331販売終了に伴い、後継で取り扱う新しいICカードリーダー・ライター

アイデンティブ社(旧SCMマイクロシステムズ)より『SCR331』と『SCR3310』(v2.0を除く)について、2012年12月31日をもって生産・販売終了する旨、連絡がございました。今後の供給が見込めないため在庫がなくなり次第、弊社での取り扱いも出来なくなります。

詳細につきましては、弊社ホームページをご確認ください。

その為、今後後継機種として、Advanced Card Systems Ltd.社の『ACR38U-IPC』『ACR38U-TFC』『ACR38T-D1』3製品を提供させていただきます。



#### ● 注意！

- FSS製品の構成で、ICカードリーダー・ライターがUSB接続型「SCR331」または「SCR3310」をご利用中のお客様が、「ACR38U-IPC」または「ACR38U-TFC」に変更される場合に、ICカードリーダー・ライタードライバーのインストール及び、**FSSの設定変更が必要**となります。
- 「ACR38U-IPC」「ACR38U-TFC」から、ドライバーのインストールについて、Setup形式を推奨しております。Inf形式の場合、インストール後ICカードリーダー・ライターのUSBポートを変更した場合に、再度ドライバーのインストールを要求される場合があります。

製品名	ACR38U-IPC	ACR38U-TFC	ACR38T-D1
寸法 (奥行) (横幅) (高さ)	72.2 mm 69.0 mm 14.5 mm	(収納時) 58.0 mm 20.0 mm 13.7 mm	67.6 mm 23.0 mm 8.0 mm
重量	60グラム	12グラム	12グラム
動作温度範囲	0-50 °C	0-50 °C	0-50 °C



# 主要機能再掲載

(Ver.7.0前から追加になっている機能)

# 4. 主要機能再掲載①

Eco機能：PCロック時にディスプレイOFFにする機能

## 【離席時/PC未使用時】

### ICカード拔取り



- カード拔取り時に自動OFF (指定秒数後に、OFFも可能)

### ① 画面を直ちにOFF



### ② 指定秒後にOFF



ロック画面になってから…  
指定秒後に画面OFF

## 【ロックの解除】

### ① ICカード挿入 or マウス・キーボード操作



### ② ディスプレイ自動ON (所有者パスワード入力)



### ③ ICカード拔取り or 指定時間放置



未解除時/放置時、指定秒数後に  
自動再OFF

### 参考例(機種に依存)

### ノート型PC

### デスクトップPC

ディスプレイON設定時	16W	67W
スクリーンセーバー設定時	16W	67W
ディスプレイOFF設定時	10W	42W

※スクリーンセーバーでは、  
省電力になりません！

**消費電力の  
約10%の削減効果が！**

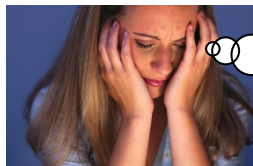
(ex. 10時間起動中も3時間未使用)

# 4. 主要機能再掲載②

## 予備カードの活用方法（簡単に予備ICカードを個人カードにする機能）

FSS® File Security System

### 予備ICカードの有効活用



ICカードの携帯を忘れて  
紛失した可能性がある  
場合にどうしたらいい  
の…？

#### 事前に予備カード登録～発行データ作成・配布

- ① 事前に予備カード登録を実行し(FSSユーザ名とシリアルNoの関連付け)各拠点に配布
- ② 予備カード用の更新データを作成  
※ ただし、今日(今週)だけといった短期有効期限設定を推奨します。
- ③ E-Mail/更新サーバーを利用して、配信

#### 支所/出張所等にて発行

- ④ 該当予備カードに対し、更新データ(実際は新規データ)を作成配信～現地で更新か、更新用PCに予備カードを挿入するだけで、特定個人向けのカードに替えることが可能。

#### ②更新データの作成

発行管理ソフトで、予備カード用の更新データを作成する  
(※有効期限短期設定を推奨)

#### 発行管理端末



SCD装置

#### ①予備カードの登録

事前に予備登録(シリアル番号だけの登録)を行い、各拠点に配布する



予備カード

#### ③-① E-Mailで配布

更新データを添付ファイルとして、E-Mailで配布



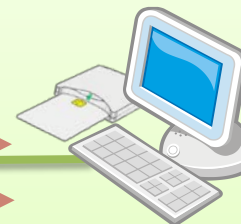
#### 共有サーバ



#### ③-② 更新サーバー保存

更新クライアントの自動更新用に、更新サーバーに格納

#### 更新用/自動更新用端末



予備カード



個人カード

#### ④ カードの更新

- ①手動更新の場合  
更新クライアントソフトを実行して現地更新(発行)する
- ②自動更新の場合  
自動更新用端末を用意し、挿入するだけで更新(発行)する

※ 表記環境構築には、「FSS発行管理パッケージ」「認証キー更新クライアント(基本パッケージ)」が必要です。